



















プログラム名	見て・さわって・不思議体験						
対象年齢	年中・年長（4～6歳）						
ねらい	メッセージ	・肉眼では見えない世界（ルーペで見る世界）があることに気づこう ・琵琶湖を身近に感じよう					
	発見・体感できること	・ルーペで見る自然の不思議さ・美しさ ・砂の感触（乾いた砂と湿った砂）や見た目の違い（輝きや色）					
参加者のめやす	幼児 25人		／		支援者 3人		
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動		●配慮・アドバイス◎アレンジ				
7分	①魔法のめがね（ルーペ）で乾いた砂を見る		<ul style="list-style-type: none"> ●ルーペで太陽を見ないことを確認します。 →p14「魔法のめがね（ルーペ）」参照 ●ルーペの使い方のわからない子には、個別に手のひらに置いたものを見せ、ルーペを通して物を見ることの楽しさを知らせていきます。 ●個々の発見を大切にしながら、砂の大きさ・形・色・輝き等が発見できるよう、言葉がけをしましょう。 (例)子ども「この花を魔法のめがねで見たら、毛が生えている！」 支援者「魔法のめがねってすごいね。見えないものが見えるよね。どんな毛が生えていたのかな？みんなも見てみようか」 				
	 <p>砂が宝石みたいに光ってる</p> <p>うわー！ 森の中みたいや</p>						

時間	活動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
10分	②砂であそぶ <ul style="list-style-type: none"> ・裸足で歩く ・砂を手ですくって、手からこぼれる様子を見る ・砂の中で手や足のかくれんぼやグー・チョキ・パーなどのポーズあそびをする ・砂の中でじゃんけんをする  <p>↑砂の中から出てきたグーチョキパー</p>  <p>あついな!!</p> <p>ジャンケンポン!</p> <p>なんか下のほうは濡れている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●裸足になったときの、感触を楽しみましょう。 ●「もういいかい」などの言葉がけをして楽しくあそびます。
8分	③波打ち際の砂であそぶ <ul style="list-style-type: none"> ・湿った砂の感触や冷たさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ●湿った砂の感触や水の感触、乾いた砂との違いなどに子どもが気づくようにします。 ●子どもが言葉や体、表情で表現する姿を受け止めましょう。 (例) 子ども 「あれ?!濡れてる砂は、硬いな!」 支援者 「ほんとに硬く感じるよね。さっきあそんだ浜辺の砂はサラサラしてたね。」
5分	④みんなで活動を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しかったこと、不思議に思ったこと、発見したことなどについて聞き取った子どものつぶやきなどをなげ返しなが、活動を振り返りましょう。 (例) 支援者「乾いた砂は熱くてサラサラしてたけれど、水辺の砂は硬く重かったね。」
【異年齢への対応】 <ul style="list-style-type: none"> ◆年少：・砂の感触を楽しみます。(砂場あそびの延長) ・親子で活動をします。 		
【園や家庭に帰ってから】 <ul style="list-style-type: none"> ◆水道水は琵琶湖の水からきていることを知らせ、水を大切にしようとする意識付けをしていきます。 ◆園での砂あそびの際に、琵琶湖での活動のことをふりかえり、園庭の砂と浜の砂の違いに気づかせましょう。 ◆ルーペで園庭の様々なものを見ましょう。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペ ・観察ケース ・サンダル 	